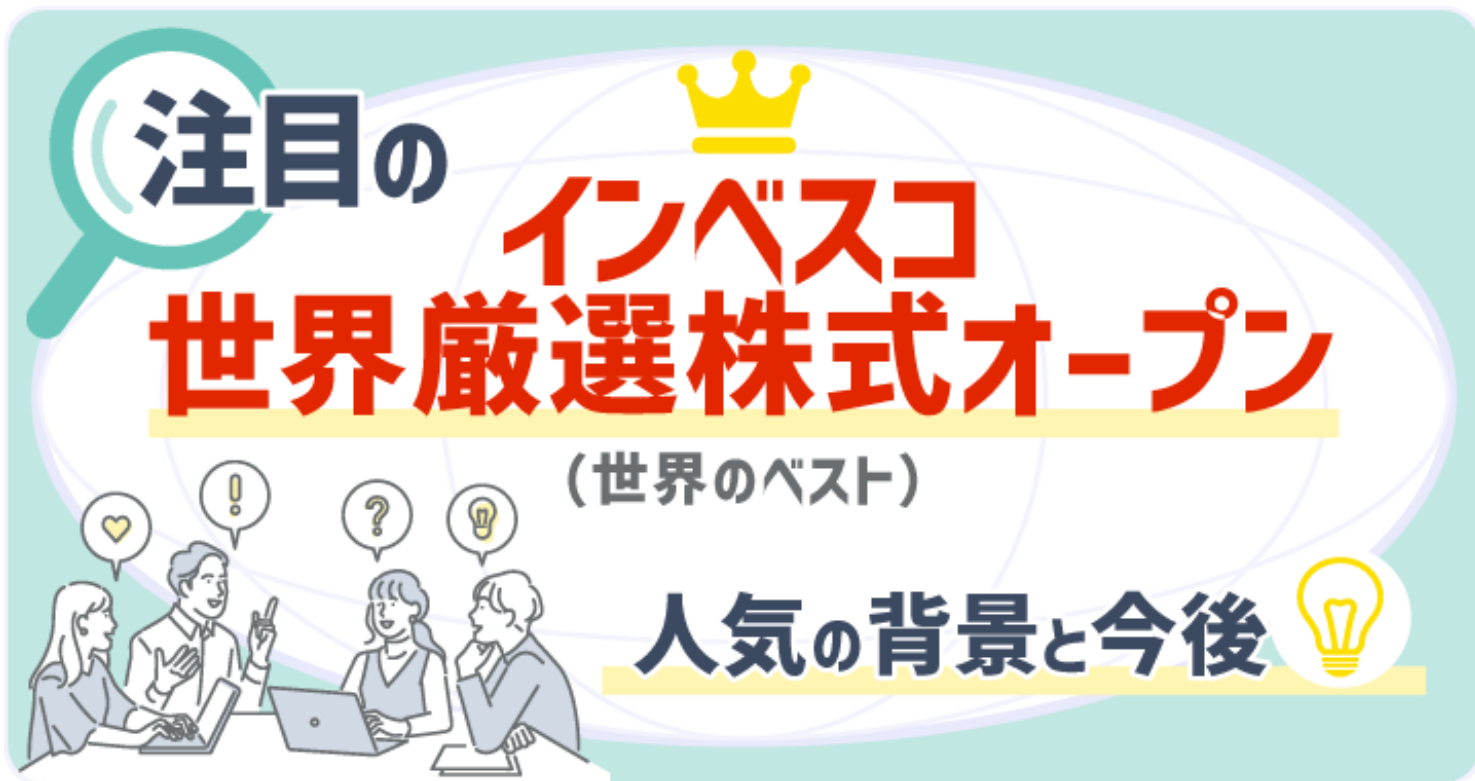


当資料は、資産形成のための情報メディア「みんなかぶ」に掲載されました
「世界のベスト」に関するコラム記事を抜粋しご紹介したものです。

コラム 配信元:MINKABU PRESS 著者:みんなかぶ PR

更新:2024/04/01 19:00 (投稿:2023/10/05 18:50)



注目を集める「世界のベスト」

MINKABU投信の人気ランキングで上位にランクされている「インベスコ世界厳選株式オープン(世界のベスト)」は、2023年の年間人気ランキングでトップであり、2023年年間で最も資金が流入したファンドです。

2023年 MINKABU
投信人気ランキング

1位

インベスコ世界厳選株式オープン
＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(世界のベスト)

2023年
年間資金流入額ランキング

1位

インベスコ世界厳選株式オープン
＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(世界のベスト)

※投信人気ランキングは期間中最もアクセス数が多かったランキングを表しています。

※純資金流入第1位は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。純資金流入第1位は、2023年年間の公募追加型投資信託(ETFを除く)における順位。分析ツールのモーニングスター・ダイレクトのデータから2024年1月4日時点において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスターに帰属します。

出所:インベスコ、モーニングスター・ダイレクト。

MINKABU投信人気ランキング(2023年12月末)

	ファンド名	運用会社
1位	インベスコ世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型) (世界のベスト)	インベスコ
2位	eMAXIS Slim 米国株式S&P500) 三菱UFJ国際	三菱UFJ国際
3位	eMAXIS Slim 全世界株式(オールカントリー)	三菱UFJ国際
4位	iFreeNEXT FANG+インデックス	大和
5位	ひふみプラス	レオス

2023年 年間資金流入額 上位5ファンド(2023年12月末)

単位:百万円

ファンド名	運用会社	資金流入額
インベスコ世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型) (世界のベスト)	インベスコ	757,354
eMAXIS Slim 米国株式S&P500)	三菱UFJ国際	751,566
eMAXIS Slim 全世界株式(オールカントリー)	三菱UFJ国際	735,046
SBI・V・S&P500インデックス・ファンド (SBI・V・S&P500)	SBI	237,188
楽天・全米株式インデックス・ファンド(楽天・VTI)	楽天	216,060

NTTデータエービックのデータをもとにみんかぶ投信作成

今回は「インベスコ 世界厳選株式オープン(世界のベスト)」を徹底分析し、その人気の背景と今後について検証します。

「みんかぶ」の当記事を詳しく
ご覧になりたい方はこちらから



「世界のベスト」シリーズの概要

「世界のベスト」シリーズ **6種**のファンド 単位:百万円 (2023年12月末)

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
毎月決算型	<p>👑インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 1999/1/7 純資産総額 1,067,327</p>	<p>インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジあり＞(毎月決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 1999/1/7 純資産総額 6,726</p>
年1回決算型	<p>インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジなし＞(年1回決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 2018/10/5 純資産総額 64,486</p>	<p>インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジあり＞(年1回決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 2018/10/5 純資産総額 3,099</p>
奇数月決算型	<p>インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジなし＞(奇数月決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 2023/9/22 純資産総額 86</p>	<p>インベスコ世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジあり＞(奇数月決算型)(世界のベスト)</p> <p>設定 2023/9/22 純資産総額 5</p>

運用方針

- 1 マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の株式（エマージング国を除く）を主要投資対象とし、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較でみた割安銘柄に分散投資し、信託財産の長期的な成長を目指す。
- 2 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づきボトムアップ・アプローチを行う。

「世界のベスト」シリーズは、為替ヘッジの有無と決算頻度(分配方針)の異なる6ファンドで構成されています(2024年1月末現在)。

純資産総額が、最も大きい「インベスコ世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(世界のベスト)」の、設定来の運用状況等を確認します。

インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) (世界のベスト)の運用状況

インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 設定来のパフォーマンス



分配金の推移



NTTデータエービックのデータをもとにみんかぶ投信作成

設定日 (1999年1月7日) ~ 2024年12月末

基準価額 (分配金込み再投資計算) は課税前分配金を再投資したと仮定した数値です。

分配金は1万口当たり、課税前。

上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

ファンド設定時の決算回数は、年2回で、決算時点の基準価額の水準に応じて分配する方針でした。2016年9月に約款を変更し、毎月決算型となり、2017年からは、毎月分配をしています。

毎月決算型に移行した2017年から、純資産総額が徐々に増加し始めていますが、目に見えて増加し始めたのは、2021年からです。また、2022年から増加ペースが加速しています。

分配金は、2017年以降、ボーナス分配を除くと、1万口あたり150円で変化していないので、分配金の増加などが純資産急増の要因ではなさそうです。では、こういった背景があるのでしょうか。

(中略)

「みんかぶ」の当記事を詳しく
ご覧になりたい方はこちらから



人気の投資資産の変遷

「世界のベスト」の設定は1999年1月17日です。運用期間は、25年超の長寿ファンドですが、純資産総額が増加傾向となったのは、直近5年間です。なぜ、それまで純資産総額が増加しなかったのでしょうか？
要因として、「世界のベスト」設定時から長い期間、投資家のグローバル株式に対する関心が決して高くなかったことが考えられます。

投資家の人気の推移を、純資産総額上位10ファンドの主要投資対象資産で確認してみましょう。

純資産総額上位10ファンド

投資対象別比率
(純資産総額ベース)

2000年末



まだグローバルへの関心が高くない

グローバル債券

11%

大人気の
国内株式

国内株式
89%

2000年末、純資産総額上位10ファンドの投資対象資産の89%が国内株式となっています。「世界のベスト」の設定当時、最も人気があった資産は、国内株式でした。

純資産総額上位10ファンド

投資対象別比率
(純資産総額ベース)

2010年末



国内の超低金利が長期化

グローバルREIT

6%

グローバルバランス

7%

グローバル株式

9%

ハイイールド債券

11%

新興国債券

14%

資源国債券

17%

グローバル債券
36%

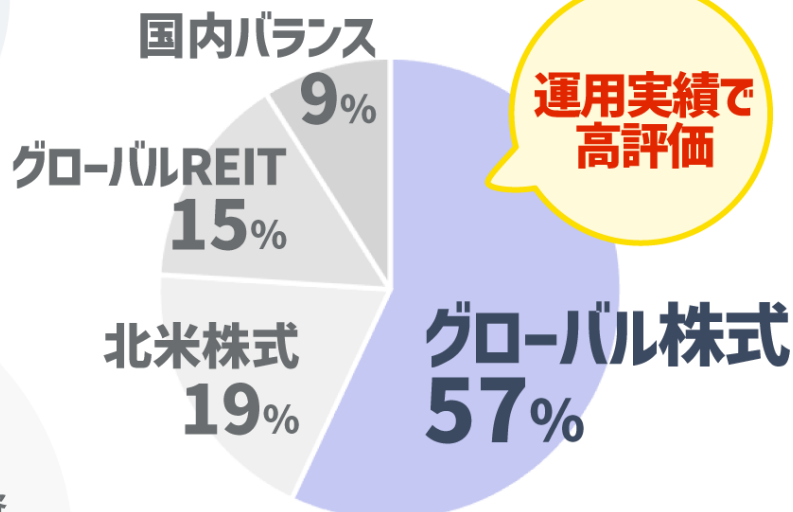
主流は
外債投資

10年後の2010年末では、投資対象資産は、大きく様変わりし、海外資産が占めるようになります。しかし、資産の中心は、債券であり、グローバル債券、資源国債券、新興国債券、ハイ・イールド債券を合わせると、78%になります。

国内では超低金利が長期化しており、内外金利差に着目した外債投資が主流だったのです。一方で、グローバル株式は10%に満たない水準にとどまっています。

純資産総額上位10ファンド

投資対象別比率 (純資産総額ベース)



運用実績で
高評価

2020年末

世界中から厳選・分散投資

さらに10年後の2020年では、海外資産は債券から株式に変わりました。

ここでグローバル株式が、純資産総額上位10ファンドの投資対象資産の50%を超えるようになりました。

人気ファンド、人気の投資対象は時代とともに変化し、現在では、長期の資産形成のための投資先として、様々な国や地域に分散して世界経済全体の成長を享受することが期待できる、グローバル株式の人気が高くなっています。

「世界のベスト」は、25年以上の運用実績があり、その間、ITバブルの崩壊、9.11同時多発テロ、リーマンショック、コロナ禍など、幾度となく大きな調整局面、相場の転換点を乗り越えて好成績を残しており、単に足元の好パフォーマンスだけでなく、長期的なパフォーマンスも十分に期待できるファンドとして再評価されていると思われます。

インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) (世界のベスト)

騰落率 (課税前分配金再投資ベース)

2023年12月末現在



良好な運用成績

ファンド

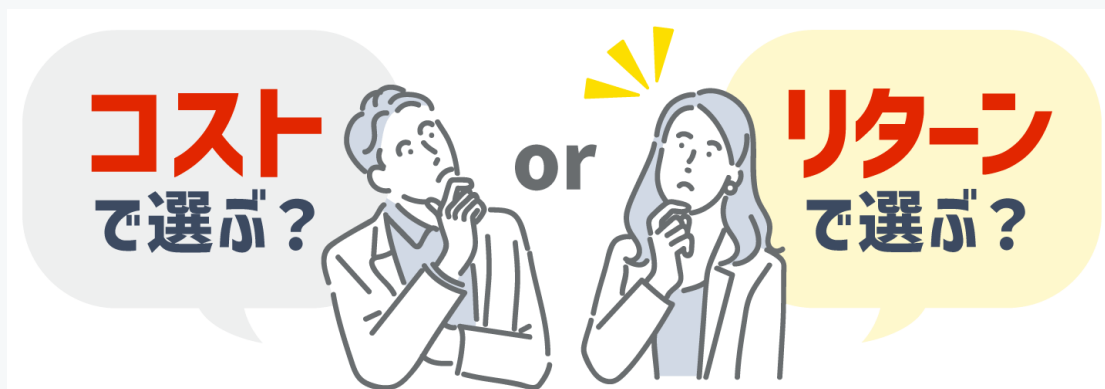
ベンチマーク

ベンチマーク: MSCIワールド・インデックス (円換算指数)

インベスコ・アセット・マネジメント作成の月次レポートより、抜粋

上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

資産形成のポイントーコストで選ぶ？リターンで選ぶ？



新NISAのスタートを控え、インデックスファンドのローコスト競争が再燃しており、一部には、一層のコスト低下を歓迎する声も聞かれます。

「ローコストのグローバル株式インデックスファンドを長期保有するのが、長期の資産形成に最も有効な手段」とする評論家の方も多いようです。

- ① アクティブファンドは、一般的にインデックスファンドより信託報酬が高いが、インデックスファンドより運用成績がいいとは限らない
- ② どのアクティブファンドがインデックスファンドより運用成績が良くなるか分からないので、インデックスファンドを選択するのが最良の選択肢
- ③ インデックスファンドの優劣を決める最大の要素はコスト（信託報酬）なので、信託報酬の安いファンドを選ぶ

これらは、運用コスト（信託報酬）を重視してインデックスファンドを勧める人の主な意見ですが、本当にそうでしょうか？



ポイントは「どのアクティブファンドがインデックスファンドより運用成績が良くなるか分からない」だと考えます。

例えば、今後1年間の運用成績の良し悪しとなると、確かにどのファンドが良いか判断するのは困難です。

なぜなら、ファンドの選択以前に、まず今後1年間の投資環境を想定しなければならず、さらにその想定した投資環境下で良好な運用成果を残すと考えられる特性を持つファンドを選ぶ必要があるからです。

それでは、長期の運用成果で見た場合はどうでしょうか？

資産形成を目的とする場合の運用期間は10年、20年の長期にわたります。その間、様々な投資環境が訪れるため、短期的に見るとファンドの運用成績には大きな変動が起こる場合がありますが、一方で長期的に見ると市場全体に対して良好な成績を残していることもあります。こうした視点から、過去の長期的な運用実績からファンドを選択することもできるのです。

コスト（信託報酬）は、ファンド選択の重要な要素であるに違いありません。しかし、資産運用で最も重要なのは、コストではなく「リターン」です。

コスト（信託報酬）の水準のみに注目したファンド選びは、より良い運用成果を放棄してしまう可能性があるため、注意が必要です。

長期の運用実績のあるファンドを選んで、「素晴らしい投資体験」を

「インベスコ世界厳選株式オープン(世界のベスト)」の運用における最大のポイントはファンド名にもあるとおり“厳選”にあるといえそうです。投資対象となる先進国の企業数は約20,000社とのことです。そこから40~50社まで“厳選”するプロセスを、少数精鋭の運用チーム全員が共有し、そのDNAが引き継がれていく…それであれば、これまでのような好成績を今後も期待できるのではないのでしょうか。

2024年から始まる新NISAでは、非課税保有期間が無期限化されます。新NISAでの投資は、長期投資が前提となることから、長期の運用実績があり、かつ、今後もそれが持続することが期待できるファンドを選ぶべきでしょう。

「世界のベスト」シリーズでは、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)」と「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)」が、新NISA対象ファンド(※)となっており、また2023年9月22日には「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(奇数月決算型)」と「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>(奇数月決算型)」が設定されており、新NISA対応予定ということで、一選択肢として考えてみるのも良いでしょう。

※ 2024年1月現在

取材の最後にインベスコ社のパーパス(存在意義)を教えてくださいました。

インベスコのパーパス(存在意義)

**インベスコは、素晴らしい投資体験を通じて
人々の人生をより豊かなものにしていきます。**



「インベスコは運用会社なので、本来なら“投資経験”のところは“投資パフォーマンス”となりそうですが、資産運用会社が提供できるものは金銭的価値だけではないと思っています。正しい投資の知識を身に着け、必要な資産を築いていくことで、より豊かな人生を歩んでいくことができる。私たち資産運用会社は、その一助になることができるし、むしろそうあるべきだと強く信じています。」

「世界のベスト」で素晴らしい投資体験の一步を踏み出してみたい方はいかがでしょうか。

「みんかぶ」の当記事を詳しく
ご覧になりたい方はこちらから



インベスコ 世界厳選株式オープン 愛称：世界のベスト

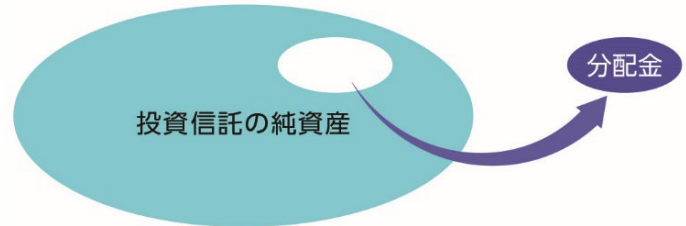
<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
 <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
 <為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

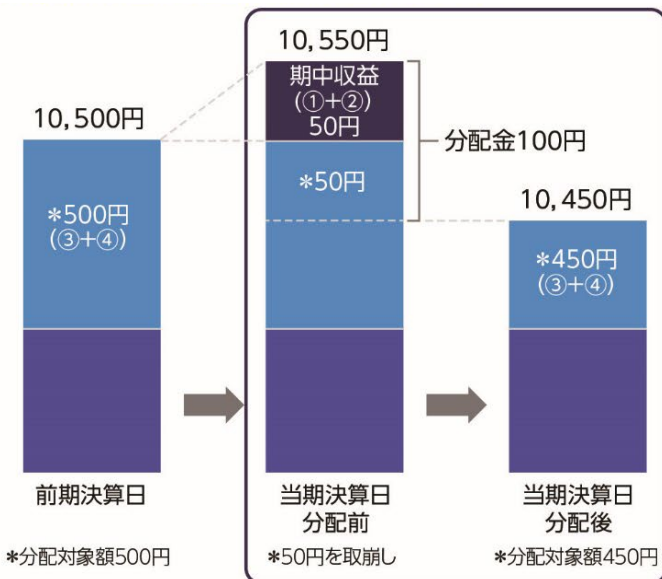
投資信託で分配金が支払われるイメージ



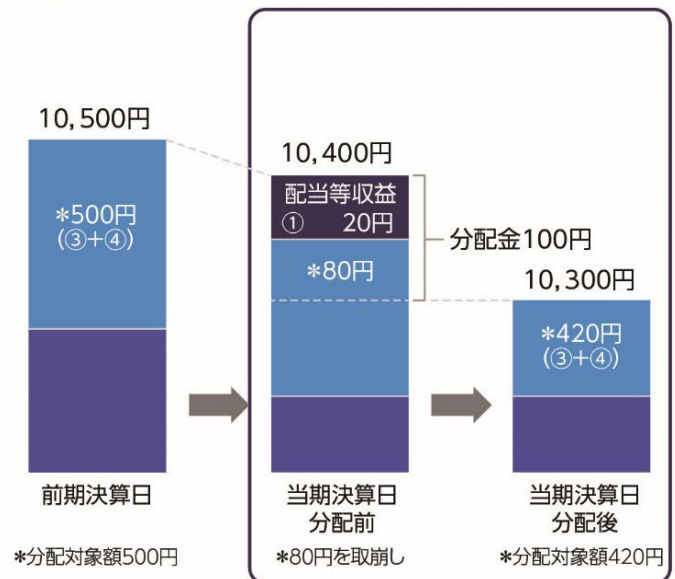
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

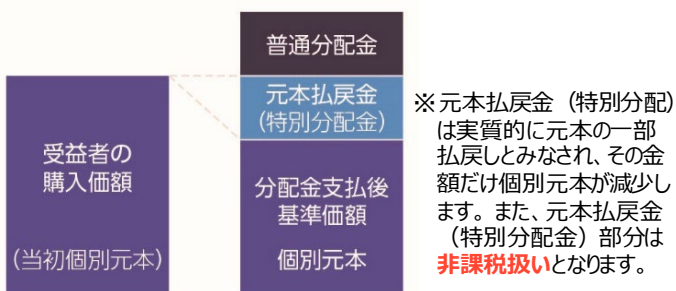


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

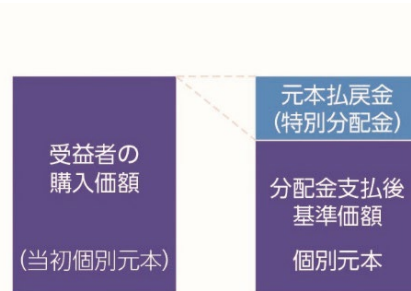
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 愛称：世界のベスト

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク

<株式> 株価の下落は、基準価額の下落要因です。
株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。

信用リスク

発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。
ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク

投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。
投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。

為替変動リスク

<為替ヘッジあり> 為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。
為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。
<為替ヘッジなし> 為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。
為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

設定・運用は

商号等 : インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 : 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

<ファンドに関する照会先>

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 03-6447-3100
【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 愛称：世界のベスト

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日） ■ 奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日）
決算日	■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 * 自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。毎月決算型は、NISAの対象ではありません。年1回決算型および奇数月決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.903%（税抜1.73%） を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	・ 組入価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11%（税抜0.10%）を上限 として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。

※ 上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 愛称：世界のベスト

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
 <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
 <為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2024年4月2日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○	○	○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○			○		
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			○	○	○
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		○	○	○
株式会社大垣共立銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○	○		○	○	
OKB証券株式会社※3	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			○	○	
岡三にかた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			○	○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○	○	○	
ぐんぎん証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			○	○	
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第16号	○			○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			○	○	○
株式会社十六銀行※4	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		○	○	○
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○		○	○	
スルガ銀行株式会社※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			○	○	
損保ジャパンD C証券株式会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○			○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○			○	○	
大和証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			○	○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○	○		○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○	○	
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○			○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			○	○	
株式会社富山銀行※4	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	○	○	○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※2 <為替ヘッジなし> (毎月決算型) のみ取り扱いを行います。 ※3 <為替ヘッジなし> (毎月決算型) および <為替ヘッジなし> (年1回決算型) のみ取り扱いを行います。 ※4 <為替ヘッジなし> (毎月決算型) 、 <為替ヘッジなし> (年1回決算型) および <為替ヘッジなし> (奇数月決算型) のみ取り扱いを行います。

インベスコ 世界厳選株式オープン 愛称：世界のベスト

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式

販売会社 (投資信託説明書 (目論見書) のご請求・お申し込み先)

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書 (目論見書) の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2024年4月2日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	○	○	
日本生命保険相互会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			○		
ニース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○		○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			○	○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		○	○	○
Pay Pay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	○	○	
株式会社北陸銀行※3	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○		
三井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○			○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行※2 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○		
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	○		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし> (毎月決算型) のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし> (毎月決算型) および <為替ヘッジなし> (年1回決算型) のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし> (毎月決算型)、<為替ヘッジなし> (年1回決算型) および <為替ヘッジなし> (奇数月決算型) のみ取り扱いを行います。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは併せて記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定 (いわゆるクーリングオフ) の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など (外貨建資産には、為替変動リスクもあります。) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様ご所属します。